ハチ激取れによるハチ防除事例と従来型誘引剤との捕獲虫の比較

アペックス産業㈱　佐々木 健

目的

都内ホテルプールでのスズメバチ防除

→　周囲に巣はなし　→　餌を取りに来たハチが侵入？

- 飛来してくるスズメバチの防除
- ハチ激取れと従来の手製誘引液に捕獲に違いはみられるか？
- スズメバチ以外（ミツバチ等）の昆虫の防除に使用できるか？

材料

- ハチ激取れ　捕獲器 （6台）

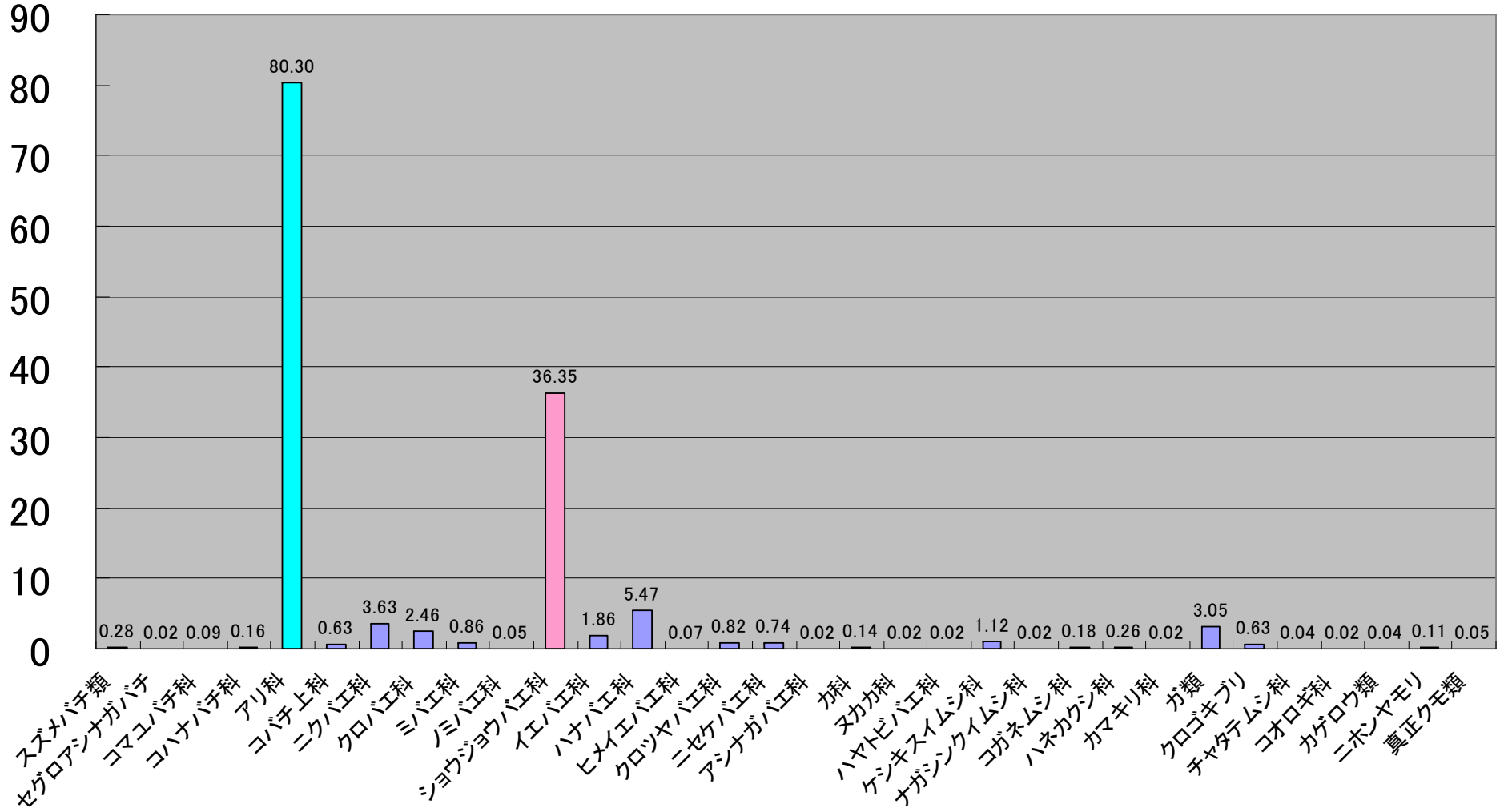
設置

ハチ激取れ

捕獲結果

		7月8日～7月23日 15 日間						7月23日～8月4日 12 日間						8月4日～8月14日 10 日間						8月14日～8月24日 10 日間						8月24日～9月3日 10 日間						計
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	
膜翅目	コガタスズメバチ		1	2				1			1		1									1	3	1		1	1	1	3			17
	ヒメスズメバチ		1		1																											2
	セグロアシナガバチ		1																													1
	コマユバチ科					1	1												1								1				1	5
	コハナバチ科					1	1								1	2		1	2												1	9
	アリ科	120	6	15	114	10	1	14	310	679	58	384	74	222	18	285	238	129	59	221	283	7	134	130	4	69	308	466	99	86	34	4577
	コバチ上科						1	9	3	4	1	3	4		4			1				2		1	1	1		1				36
双翅目	ニクバエ科	17	12	8	45	10	1	5		2	12	7	5	5	5	18	10	1	2	8	4	2	8	5	1		6	2	2	3	1	207
	クロバエ科	19	31	5	10	5		1	27	2	8	4	4	1	1	5	4		2	1			1			1	4		3	1		140
	ミバエ科		4	1	1		2		1	2			2	2	1	7	1	2	3	5	3	4		3		1	3				1	49
	ノミバエ科	1								1																			1			3
	ショウジョウバエ科	63	281	439	172	318	78	60	208	17	80	54	15	2	13	13	4	19	24	15	7	6	6	7	17	26	74	3	18	12	21	2072
	イエバエ科	7	10	5	15	11	0	5	14	7			10			3		6		1		1	3		1	2	2		1	2		106
	ハナバエ科	28	17	7	44	48	4			1		2	5	8	5	9	22	11	11	31	5	3	6	5	1	1	14		4	12	8	312
	ヒメイエバエ科								2				1									1										4
	クロツヤバエ科		20	3		2	2								2	1	2	3	3			2	1	3	1					1	1	47
	ニセケバエ科		4	2		3	4	2	1			2	3	1	1		1	4	7	1	1	1		3		1						42
	アシナガバエ科												1																			1
	カ科																		1				1				1	1	1	2	1	8
	ヌカカ科												1																			1
	ハヤトビバエ科									1																						1
鞘翅目	ケシキスイムシ科		6	2					1					2	5	1		1		2	4	1	1		2	9	19		8			64
	ナガシンクイムシ科																												1			1
	コガネムシ科														2	2							6									10
	ハネカクシ科			1			1									1					3	1			1		6		1			15
カマキリ目	カマキリ科										1																					1
鱗翅目	ガ類	3	7	5	9	3	8	2	10	2	3	7	4	1	7	11		9	6	4	4	5	2	9	11	4	11		8	16	3	174
ゴキブリ目	クロゴキブリ		1		2			1	2		2				2		3			1		2	3	1	1	11	3	1				36
噛虫目	チャタテムシ科												1						1													2
長翅目	コオロギ科																								1							1
蜉蝣目	カゲロウ類							1											1													2
爬虫綱	ニホンヤモリ										1		2		1				1								1					6
蛛形綱	真正クモ類		1															1									1					3
計		258	403	495	413	412	104	101	579	718	167	463	133	244	68	358	285	189	123	290	314	39	175	168	42	127	455	475	150	135	72	3308

捕虫指数


90
80
70
60
50
40
30
20
10
0
0.28
0.02
0.09
0.16
80.30
0.63
3.63
2.46
0.86
0.05
36.35
1.86
5.47
0.07
0.82
0.74
0.02
0.14
0.02
0.02
1.12
0.02
0.18
0.26
0.02
3.05
0.63
0.04
0.02
0.04
0.11
0.05
スズメバチ類
セグロアシナガバチ
コマユバチ科
ヨハナバチ科
アリ科
コバチ上科
ニクバエ科
クロバエ科
ミバエ科
ハモバエ科
ショウジョウバエ科
イエバエ科
ハナバエ科
ヒメイエバエ科
クロツヤバエ科
ニセケバエ科
アシナガバエ科
カ科
ヌカカ科
ハヤトビバエ科
ケシキスイムシ科
ナガシンクイムシ科
コガネムシ科
ハネカクシ科
カマキリ科
ガ類
クロゴキブリ
チャタテムシ科
コオロギ科
カゲロウ類
ニホンヤモリ
真正クモ類

結果

- 基本型誘引液、工夫型誘引液、ハチ激取れ誘引液において、スズメバチ類を捕獲することができた
  また、ミツバチの捕獲はなかった
- 基本型誘引液、工夫型誘引液、ハチ激取れ誘引液において、目立って捕獲されたのは、
  アリ科、ショウジョウバエ科だった
- 今回の設置箇所や誘引液の違いに対して、捕虫指数に有意差は見られなかった
- 防除期間中、現場において聞き取り調査を行ったが、プールでのスズメバチ類の目撃、被害はなかった

考察

- 防除期間中、プールでのスズメバチ類の目撃はなく、捕獲器による捕獲ができた
- 捕獲器配置箇所については、捕虫指数に差はみられなかったが、配置箇所間の距離が短かったことが、原因として考えられる
- 誘引液については、今回スズメバチ類の捕獲はあったが、全体的に捕獲数が少ないため、今後さらに検討する必要があると思われる。

  アリ科、ショウジョウバエ科について、多く捕獲されたが、巣や発生源の関係から防除には向かないのでは？→生息調査
- 今回、ミツバチは捕獲されていないが、付近にミツバチの巣がなかった可能性が考えられる。